

3月の宴会予約が
すべてキャンセル(居酒屋)

病院で検査を受けられるように
してほしい(大阪市民・中央区)

子どもを預ける
身寄りがない(看護師)

イベント中止で仕事が
キャンセル(デザイン業)

客足は8割減(バス会社)

資材がなく
仕事ができない(建設業)

狭い学童の部屋で感染率が
高くなるのが心配(豊中市民)

マスクも除菌アルコールも
買えない(食堂経営)

増税の上にコロナで
追いうち(飲食業)

新型コロナ対策は 政府・与野党 が力あわせ 政治の責任で

ぜひ、皆さんの思いを聞かせてください。 **日本共産党** は全力を
つくします。

専門家の英知を結集し、政府は本気の姿勢を

専門家会議への安倍首相の参加が3分、対策会議に3人の大臣が欠席。

「専門家の意見を伺ったものではない」と首相の独断など、定まらない政府方針に不信が高まっています。

専門家の意見を共有し与野党で知恵をしぼるのが首相の仕事。科学的な根拠のある対策を求めます。



近畿運輸局で観光業の実情を聞き取る
(右から宮本前衆院議員、辰巳前参院議員)



各分野から聞き取る党大阪府委員会の懇談会
(正面左から、わたなべ大阪3区国政対策委員長、辰巳前参院議員)



大阪府知事に第二次の申し入れをする共産党府議団、
(左から)内海公仁・石川たえ府会議員(2/28)



新型コロナ対策で中小企業支援を求める
清水ただし衆院議員(2/28衆院財金委)

新型コロナでお困りのこと、政治への要望をお聞かせください

日本共産党大阪府委員会 [FAX.06-6762-4659 MAIL.info@jcp-osaka.jp]

お住まい地域の党事務所に
ご相談ください。連絡先は、



地方議員団と国会議員団が連携して実現! さらに拡充を! (3月9日時点)

休職中(非正規も含む)給料に助成

臨時休校で仕事を休んだ保護者に、給料を支払った企業を助成する制度を創設。上限は1日当たり8330円。さらに拡充を求めます。

確定申告の受付を1ヶ月延長

所得税の確定申告の受付を4月16日まで延長を決定。日本共産党の清水ただし衆院議員の提案が実現。

検査費全額補てん

感染を調べるPCR検査への公的医療保険適用で自己負担なしで検査が受けられるようになりました。

日本共産党は提案します

1 「検査・医療・相談・情報」 体制の強化・確立

- 大学や民間医療機関の力を総動員し、検査体制を早急に確立・強化。日本共産党は、野党で共同して、PCR検査体制を拡充するための法案を衆院に提出しました。
- 病状に応じて専門家に相談できる窓口体制の確立。正確な情報の周知徹底。
- 診療スペースと人員、ベッドの確保、マスク・消毒液の迅速な提供など医療体制を強化。

2 地域経済に対する緊急支援策 地方議員団と国会議員団が全力をあげます

- 資金繰りが苦しい中小零細企業などに対する緊急のつなぎ融資。
- 仕事を休んだ人の収入を保障する。雇用調整助成金の対象拡大。
- 自営業やフリーランスなどへの保障。

3 「153億円では足りない」 思い切った予算化を

政府の新型コロナウイルス対策費はたった153億円。しかも、2020年度予算案は0円。私たちは、最低でも2500億円の予算をと、野党共同で提案(自民・公明・維新の反対で否決)。引き続き予算化を求めます。



発行:日本共産党大阪府委員会
2020年3月11日 No.330
日本共産党大阪府委員会の見解を紹介しています

大阪市天王寺区空堀町2-3
TEL.06-6762-8771
FAX.06-6762-4659

E-mail:info@jcp-osaka.jp
URL:http://www.jcp-osaka.jp/

JCP大阪 検索

